銅の輸入は景気後退で大幅減少

自動車生産・販売、住宅着工ともに振るわず

橋本健一郎氏リポート①

■国際概況

五月前半は、独英のロックダウン緩和による経済再開期待などのプラス材料もあったが、新型コロナウイルス発生源を巡っての米中対立懸念を嫌気しLME銅相場はDOWN、五月十五日時点で五、一五五・五ドル（セツル）と月初価格より七五ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は中旬で新型コロナ集団感染が確認されたことやパウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が米経済停滞の長期化を予測したこと、中国全国人民代表大会でGDP成長目標値が未発表となり、同国景気先行き不透明感が強まったことなどのマイナス材料もあったが、中国人民銀行総裁易綱（Yi Gang）が慎重浮揚のため金融緩和策をとると声明したことと、欧州経済再開、ワクチン開発期待などを好感しLME銅相場はUP、六月四日現在、後半スタート価格から三三四ドルUPの五、四九九・五ドル、当月スタート建値はプラス二万円の六二万円。

■前月の経済指標

◆月間のドル／円レート（TTS）

一〇七・八七・一〇八・五三（円）。

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、三月の自動車生産台数は前年比八・〇％減の八二万八、七〇二台、輸出（四月）は同五四・二％減の一、九万三、六〇二台。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、五月の自動車販売台数（軽除く）は前年比四〇・二％減の一四万七、九七八台。

◆新設住宅着工件数

四月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比一二・九％の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比一二・〇％の減少となった。

○新設住宅着工戸数は六万九、一六二戸、前年同月比一二・九％減、一〇カ月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は五、七一九千㎡、前年同月比一二・四％減、九カ月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では七九万七千戸、前月比一二・〇％減、三カ月ぶりの減少。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によると、四月の輸出は前年比で電気銅が二九・〇％増の四万三、一四八t、スクラップが五二・七％減の一万八、七三二t。

輸入

四月の輸入は電気銅が前年比七三・二％減の一、〇九九t、スクラップが三六・五％減の九、〇二〇t。

■前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移（速報）によれば、四月は前年比七・九％減の五万九、六一一t。

日本電線工業会発表の出荷速報（四月推定）銅電線出荷量は、前年比一三％減の五万一、七〇〇tであった。

■国内概況まとめ

【自動車生産】

日本自動車工業会によると、三月の自動車生産台数は前年比八・〇％減の八二万八、七〇二台。

輸出（四月）は同五四・二％減の一九万三、六〇二台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると、五月の自動車販売台数（軽除く）は前年比四〇・二％減の一四万七、九七八台。

このうち、乗用車四一・八％減、貨物二九・八％減、バス五〇・九％減。

【住宅着工戸数】

四月の新設住宅着工戸数は六万九、一六二戸、前年同月比一二・九％減、一〇カ月連続の減少。

四月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比一二・九％の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比一二・〇％の減少となった。

（六面へ続く）

LME銅・為替予想

アフターコロナや米中の動向などが左右か

（四面より続く）

【伸銅品生産】

四月の伸銅品生産は前年比七・九％減の五万九、六一一tと一七カ月連続減少。国内伸銅品の一部品種で短期的な需要増加があったが、多くにおいて新型コロナウイルス感染拡大によるマイナス影響があった。

品種別では、銅条は前年同月比〇・三％増加、一五カ月ぶりプラス。黄銅棒は前年同月比一二・一％減少、九カ月連続のマイナス。

【電線出荷】

四月の銅電線出荷量は速報で前年比一三％減の五万一、七〇〇t。このうち、国内一二・七％減、輸出が三三・一％減。

【輸出】

四月の電気銅輸出が二九％増の四万三、一四八t、銅スクラップが五二・七％減の一万八、七三二t。

【輸入】

四月の輸入は電気銅が七三・二％減の一、〇九九t、スクラップが三六・五％減の九、〇二〇t。

【見通し】

・三月の自動車生産は前年比八・〇％減、五月の国内販売台数が前年比四〇・二％減、販売で大幅調整が入り来月も大幅減少か？

・四月の伸銅品生産は前年比七・九％減の五万九、六一一tと、一七カ月連続減少。国内伸銅品の一部品種で短期的な需要増加があったが、多くにおいて新型コロナウイルス感染拡大によるマイナス影響があった。

・四月の銅電線出荷は速報で前年比一三％減の五万一、七〇〇t。このうち、国内は一二・七％減、輸出が三三・一％減。こちらも同様に要に悪化！しかも二桁減。

・銅輸出は内需減少で、電気銅は大幅増加、スクラップは発生減で減少。

・銅輸入はコロナショックによる景気後退から共に大幅減。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は銅建値が本年二月の六四万円水準まで戻したが、生産の大幅減により発生減から少ない。需要面に関しては、世界的なコロナショックからの世界経済の先行き不透明もようやくピークを過ぎた感はあるが、生産増とまでにはいかず需要は悪化する。

【LME・為替予想】

今月はアフターコロナや景気対策の動向と中国の香港に対する国家安全法制定や天安門三十年追悼集会における米中動向に左右される。

アフターコロナに関しては各国で外出禁止や自粛の解除、景気対策などは出てきており、一日はコロナ危機感は後退するのではないか。

米中問題は習近平指導部は強硬者の退陣や抵抗活動を抑え込み、事件の再評価を拒否、対立は深まる気配はあるが、トランプ米大統領は三日、保守系テレビ「ニュースマックス」のインタビューで、香港問題をめぐって中国の習近平国家主席に制裁を科すつもりはないとの認識を明らかにしたことから即対立することはないのではないか？

これらを踏まえた六月の銅価格は、五、四〇〇～五、六〇〇ドル（セツル）との予想ドル円値は一〇七円～一〇九円（TTM）台を予測。

銅建値に関しては六二〇～六六〇円程度と予測している。

古河機械金属 古河気合筋肉オフィシャルサイトをリニューアル

スマホユーザーをメインターゲットに

古河機械金属はこのほど、ブランディングエンタメサイト「古河気合筋肉オフィシャルサイト」をリニューアルした。

同Webサイトは、「知る人ぞ知る古河機械金属」から「誰もが知っている古河機械金属」にするために広告を展開している「古河気合筋肉」のオフィシャルサイトとして運営している。

新たなWebサイトは、「社会の筋肉」である「古河機械金属」を、もっと多くの人に知ってほしい、もっと興味・関心をもってほしい、という思いから、スマートフォンユーザーをメインターゲットに新たなデザインで仕上げている。

同社は、「古河気合筋肉」のブランドコンセプトや思いを伝えるとともに、最新のWeb表現技術を用いて演出を施すことで、これまでに展開してきた動画コンテンツを再活性化させ、「古河気合筋肉」を通じて「古河機械金属とはどんな企業なのか」を、少しでも多くの人に知ってもらうことを引き続き目指していく考え。